

SCHOOL TOPICS

男子ダブルスカルに出場した私と
2年の鎌田悠慎は、全県総体でライ
バルの本荘高校に漕ぎ勝ち、広島県
福山市で行われるインターハイ出場
を決めた。会場となつた芦田川は、
風も波も非常に強く、さらに広島の
強烈な日差しと猛暑によつて、予選
では自分たちらしい漕ぎが全くでき
なかつた。それでも、これまで積み
重ねてきた「考えるローライング」を
武器にレースプランを立て直し、敗
者復活戦では最後の最後に相手を差
し切つて準々決勝進出を果たした。
準々決勝でゴールした瞬間、数え切
れない出来事が一気によみがえり、
胸が熱くなつた。次々と辞めていつ
た同級生、冬の厳しい練習の日々、
先輩との思い出、そしてインターハイ
出場を決めたときにコーチと抱き
合つた場面・・・・
苦しいことばかりだつたけれど、
それでもボートを選び、続けてきて
良かつた。心からそう思えたのが、
このインターハイだつた。



積み重ねの先に

**男子ダブルスカルで
準々決勝進出**

この3年間を振り返ると弓道を通して貴重な経験を積み、仲間と笑い合つたり、目標に向かって練習をした日々が思い出されます。もちろんうまくできなくて悩んだこともありますましたが今となっては良い思い出です。最後に、いつも支えてくださったOB会の皆様、先生方、保護者の方々や後輩たちにこの場を借りて感謝を申し上げます。これからも秋田高校弓道部をよろしくお願ひします。



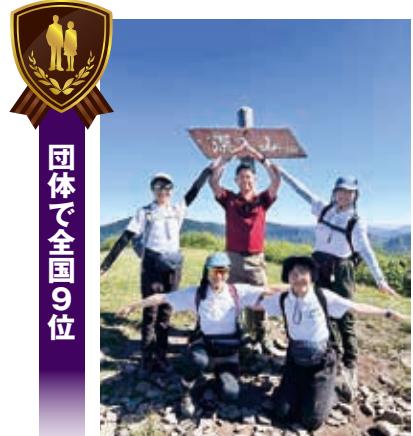
私たちちは、インターハイ弓道競技に男子団体で2年連続の出場を果たしました。「優勝」という目標を全員で掲げ、「まつすぐ」に引くことを目指して日々の練習に励みました。迎えた本番では、前半は10射4中で思っていたように力を出せず苦しみましたが、最後の1射は5人全員が的中し20射12中で競射まで持ちこみました。しかし、残念ながら競射で敗れ、予選敗退という結果に終わってしまいました。

「まつすぐ」を目指して

弓道部
伊藤 澄弥

今年のインターハイは昨年までの反省のもと、本気で優勝を目指してきた大会でした。この1年間、先生方と試行錯誤を重ね、細部までこだわって準備してきました。しかし、今年は例年になくハイレベルな戦いとなり、昨年の準優勝チームを超える点数ながらも9位という結果に終わってしまいました。何が減点されたのか、どうすべきだったのか。数日間は夢でインターハイをやり直していました。それでも、準備の成果は全て出し切れたと胸を張つて言えます。安全登山のためのあらゆる力を100点満点で競うのが登山競技で、その力が99・1点に達したと言えるのなら、私はそのことを誇りに思います。何よりも準備も下見も本番も、最高に楽しめたです。

もはや家族同然の仲間や先生方と共に全国の頂を目指すことができて幸せでした。本当にありがとうございました。今後とも山岳部をよろしくお願ひいたします。



頂を目指して

団体で全国9位

とかでぎゅうじゆうを勝負を交わす
大会を楽しむ
両面で貴重な
です。部活動
いに厳しく叱
られません。
退となりま
であつたよ
うに思いま
す。応援し
てくださつ
た皆さん、
本当にあり
がとうござ
いました。
後輩の皆さ
ん、将棋を
楽しんで頑
張つてくだ
さい。

私達はかがわ総文祭の団体戦に出場しました。1回戦ではメンバー全員が勝利することができ好調なスタートを切りましたが、あととの3戦は負け、結果は1勝3敗で予選敗退となってしまいました。目標にしていた決勝トーナメント進出を果たせなかつた悔しさは大きいものの、対局ごとに部員全員が持てる力を出し尽くし、1局1局を楽しんで指すことが出来ました。全国の重慶に見付

仲間と歩んだ 全国大会

将棋部 川田頼紺

